



カナダ羽毛協会 (DOWN ASSOCIATION OF CANADA) 本部・トロント)のマイケル・デラプレース会長が、本紙既報5月1日号(4面)の通り、4月19日、東京・赤坂のカナダ大使館で開催された「カナダ稀少羽毛」の発表レセプションに出席するために来日した。過密なスケジュールを縫って、同氏にプロジェクト誕生の経緯や今後の活動指針などを聞いた。(聞き手日本紙取締役営業部長・村田哲夫)



カナダ羽毛協会会長
M.デラプレース氏

ばれる独自の監視プログラムを持って、カナダ政府関係機

「正会員は羽毛原料メーカー1社と製品加工メーカー20

ると認識している。しかしながら、従来高級志向ものについては、日本人の価値観の1つである、欧米に対する好印象のため、いわゆる『ハンガリー産』『ポーランド産』『カナダ産』の優良誤認が頻発している。このような状況下を鑑み、当協会では、カナダ政府関係機関と連携し、日本の産・官・学協同の新たな仕組

「カナダ稀少羽毛」の日本市場での取り組みについての概要を。
「希少性が高いがゆえに、限られた数量しか提供できない『カナダ稀少羽毛』を使い、選ばれた日本国内の製販各社との協業により、この品質と機能を最も理解して頂ける高齢者をメインターゲットに、従来のふとんの選択基準でない、新しい画期的な選択基準『Comfort index (コンフォート・インデックス)』による、お客様1人ひとりに合ったイージーオーダー羽毛ふとんを提案したい」

「カナダ稀少羽毛」を高品質と希少性を訴求

関と協力して、羽毛及び羽毛製品の品質の強化、不正取引などの監視、組織化された協会会員・準会員の羽毛メーカー、製品メーカーと共に、カナダ羽毛の啓もう・広告・販売の促進を中心に活動し、カナダ羽毛産業の向上を推進している非営利団体の組織だ」

社の21社。これに、準会員の小売企業8社を加えた29社で構成・運営している」

「今回、『カナダ稀少羽毛』の提案プロジェクトについて、その経緯(動機)を。

「私達は、近年日本における羽毛寝具市場は、成熟期に入っており、高級志向と価格志向の二極化が鮮明になってい

「長年の夢が叶い、『カナダ稀少羽毛』の日本進出への1歩を踏み出すことができました。これからも協会の、5つのミッション(理念)を厳守し、日本の最も信頼できるパートナー企業との取り組みを強化し、高品質で機能性の高い『カナダ稀少羽毛』を安定供給していく方針である」

「貴羽毛協会の概要を。」
「当協会は1975年に設立され、今年で35周年を迎える。カナダ羽毛業界の中にあつて、『ダウンチェック』と呼

現在の会員数は。

「現在の会員数は。」

「現在の会員数は。」

「現在の会員数は。」